

平成28年度 JARL 糸魚川クラブ総会

平成29年3月19日(日) 10時~14時
大和川地区公民館 研修室1&2

1 開会の挨拶 J E 0 K B P 井澤和秀 会長

2 議長選出

3 自己紹介 参加者

4 議事

(1) 平成28年度活動報告及び会計決算報告
J E 0 K B P J H 0 B Q V

(2) 平成29年度活動計画及び予算案
J E 0 K B P J H 0 B Q V

(3) 平成29年度役員案
J E 0 K B P

(4) その他
・ヒスイの石アワード、カード
・クラブ50創立周年記念事業

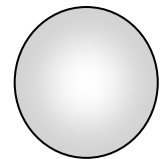
5 議長退任

6 クラブ内コンテスト表彰
J R 0 X L Y

7 お楽しみ抽選会
J E 0 J J R

8 その他

9 閉会の挨拶
J R 0 L O Z
岡田 晋 副会長



抽選番号



今年度話題になったリグ「ICOM IC-7300」

2015年夏の「ハムフェア2015」で展示されたアイコム
のHF/50帯オールモード機・IC-7300。発売は今年2016年2
月。『最強のコンパクトHFトランシーバー』というキャッ
チフレーズにたがわず、隣接した強い信号にかき消されて
しまう目的の信号が3KHz離れただけで浮かび上がって
くるその性能はびっくりしました。混雑する7MHzやパイル
アップになっているDXの信号受信は抜群だと思います。
その上①持ち運び容易なコンパクトサイズ②オートアン
テナチューナー搭載③大型ディスプレイ&操作性の良い
タッチパネル④価格がお手頃。など高性能です。糸魚川ロ
ーカルでも購入した人がいます。Amazonで128,000円。

(1) 平成28年度 JARL 糸魚川クラブ活動報告

4月10日（日）お花見ミーティング（美山公園）

満開の桜の下、楽しくアイボールミーティングを行いました。豪華弁当、現地で手作りの焼きそば、ノンアルコールビール、デザートやつまみ、たくさんの差し入れ等でおな一杯になりました。

バーチカルアンテナでの運用、ロングワイヤーとオートアンテナチューナーでの運用も行いました。

各局のモバイル設備について情報交換やラグチューも楽しくできました。

参加者 JH0BQV JH0FZG JR0LOZ JR0JMY
JE0KBP JE0JJR JI0IOI JI0LQJ JJ0QJB
以上9局

幹事を務めていただいた保坂さん、石塚さんありがとうございました。



4月24日（日）熊本大地震募金活動

市内のスーパーマーケット前で熊本大地震の募金活動を行い、174,216円の募金を集めて、被災地に送金しました。参加された各局大変お疲れさまでした。



5月21日（土）姫川総合水防演習

JARL 糸魚川クラブと糸西移動グループは糸魚川市災害応援協定団体であること

から、アマチュア無線による情報伝達（巨大なスクリーンにJARL 糸魚川クラブ、糸西移動グループの役員による災害報告が映し出されました）、アマチュア無線のパネル展示（市民にPRするための展示パネル、A1サイズのスチレンボード5枚にクラブの活動を写真と見出しや文章で解説したものを貼り付け）、展示（リグ、書籍やQSLカード）等を行いました。

参加局

JR0JMY JA0EKS JH0BQV
JA0PYA JR0LOZ JE0KBP



6月9日 糸魚川クラブのポロシャツ完成

JARL 糸魚川クラブの本年度の目玉の一つである「クラブのポロシャツ」の見本ができました。1着 2100円。発注先は「アドクリーク」。シルクスクリーン印刷ですので、シールを張り付けるのと違って洗濯ではがれたり色が薄くなったりすることがありません。長く着られると思います。(胸ポケット付き)



7月17日(日) JARL 新潟県支部大会小千谷大会

小千谷市民学習センターで行われた表記の大会に行ってきました。

JARL 糸魚川クラブからは J I Ø I O I 宮越さん、J G Ø R U R 伊藤さん、J E Ø J J R 細貝さん、J I Ø L Q J 石塚さん、J E Ø K B P 井澤が参加しました。

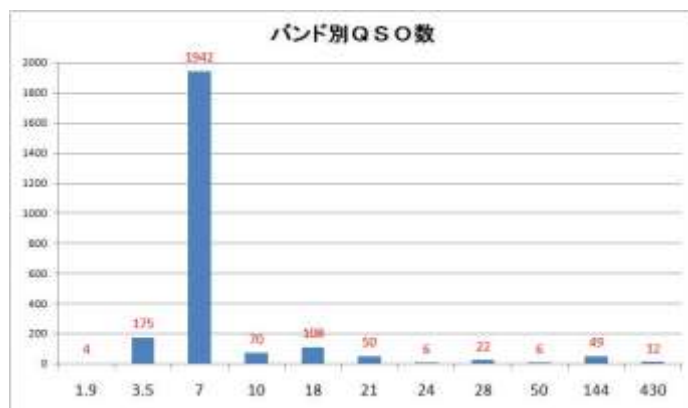
今回から、大会の冊子がインターネット(県支部)で公開され、希望するクラブの紹介ページも掲載されるようになりました。糸魚川クラブのページも作りましたので参加者全員に J A Ø Y K A を P R することができました。



7月11日(月)~7月31日(月) ARDF 全国大会(新潟県)特別記念局 8NOARDF/O の運用

この時期は、ハイバンドも開けることが多く、アクティブな糸魚川各局の運用のおかげで 11 バンドを駆使し合計 2,444 局と Q S O できました。

J-クラスターにも 23 回掲載され注目された運用でした。



8月6日~7日(土・日)

フィールドデーコンテスト&納涼会

今回は、樽生ビールをジョッキで飲めたり、新潟もち豚の焼肉がたっぷりあったり、腕利きシェフによる焼きそばがおいしかったり、豪華な飲食と盛り上がったラグチューで暑さを吹き飛ばす会になりました。逆に、コンテストの Q S O は 200 局程度と例年よりも少なめでした。

参加者

JAØEKS, JAØPYA, JAØWKA, JEØJJR, JEØKBP, JEØVSO, JHØBQV, JHØECZ, JHØFZG, JHØØIS, JIØIOI, JROJMY, JROLNI



8月20日、21日(土・日)

40周年記念ハムフェア参加

JARL 糸魚川クラブのメンバー11人はハムフェアに参加しました。

今年は、1977年東京晴海で開催されてから40年目を迎える記念すべきハムフェアであり主催者発表で昨年より1,000人多い37,000人が参加したとのことです。

マイクロバスを運転してくれた JJ0QJB、JG0RURさん、企画運営の中心をしてくれた JE0JJRさんに感謝いたします。

【参加者】

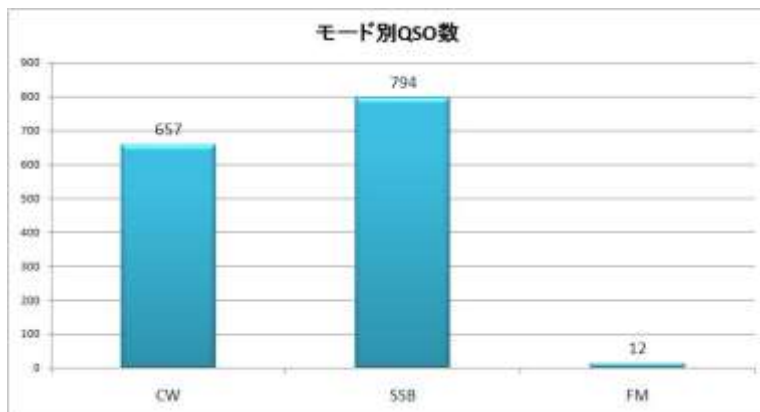
JA0CAB JH0BQV JH0FZG JR0JMY JR0LNI JE0JJR
JE0KBP JG0RUR JI0IOI JI0LQJ JJ0QJB 11名。



10月3日(月)から10月16日(日)

8NOCLE/0 受信環境クリーン月間PR局運用

14日間で1,463局とQSOしました



最終日は大和川東区集会所で移動運用を行いました(上の写真)

11月7日

日本の石ヒスイにちなんで ヒスイアワードを検討

ヒスイが日本の石(国石)に選定されたというニュースが流れ、糸魚川クラブとしてアワードを発行したいと考えていました。

アドクリークにデザインをお願いしていたところ、この度2つのアワード案が出来上がりました。



11月26日(土) 忘年会

会場「あじさい」18:30

忘年会では、アイボールミーティング、不用品持ち寄りオークション、食べきれないほどのおいしいごちそうなどで大変楽しい時間を過ごしました。幹事の山田さんありがとうございました。

参加者

JA0CYK JA0GUX JA0PYA JH0
FZG JR0LNI JE0JJR JE0KBP
JG0RUR JI0IOI JI0LQJ

以上10名でした。



JARL 新潟県支部地区研修会「オシロスコープの製作、オシロスコープの使い方」

2017年1月9日(月・成人の日)

10時00分～17時00分

糸魚川市ビーチホールまがたまで製作講習会を行いました。

参加者

JA0CAB 講師 JI0IOI 講師
JE0KBP JL3TQA JJ0SFV JA0EKS JA0PYA
JE0JJR JR0LNI JH0BQV JA0PHB JH0VYM、
JR0JMY

内容

「オシロスコープの製作、オシロスコープの使い方」オシロスコープキット(秋月電子通商 DSO138)を製作するとともにオシロスコープの使い方、電気回路の測定方法について研修する。



◎糸魚川クラブとしては、これまでにない難しいレベルの基板でしたが、一台の失敗作もなく全員が信号を映し出す実用的なオシロスコープを完成



させたのは素晴らしいことだと思います。講師の藤田さん、宮越さん、事務局の細貝さんありがとうございました。京都や上越から参加された方も大変満足して帰られました。

平成 28 年度JARL糸魚川クラブ会計決算書

【 収入の部 】

(平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 17 日現在)

科 目	本年度予算	本年度決算	比較増減△	備 考
繰越金	150,235	150,235	0	前年度より
会費	108,000	96,000	△ 12,000	@3,000×32 名
地区研修会	10,000	10,000	0	県支部助成金
雑収入	0	23,600	23,600	忘年会/オークション等
			0	
合 計	268,235	279,835	11,600	

【 支出の部 】

科 目	本年度予算	本年度決算	比較増減△	備 考
行事費	10,000	4,852	△ 5,148	クラブ内コンテスト
	10,000	10,000	0	地区研修会助成(製作講習)
	10,000	5,000	△ 5,000	県支部大会参加補助
	15,000	5,000	△ 10,000	フィールドデーコンテスト&納涼会助成
会議費	3,000	3,000	0	
総会費	45,000	31,593	△ 13,000	
会報代	20,000	16,200	△ 3,800	
会報送料	15,000	5,166	△ 9,834	
通信費	3,000	1,976	△ 1,024	案内葉書ほか
会長渉外費	25,000	25,000	0	県支部クラブ代表者会出張、交通費助成
事務用品費	2,000	2,000	0	
QSL 転送費	15,000	10,036	△ 4,964	
JARL会費	10,800	10,800	0	
電波利用料	300	300	0	
予備費	84,135	0	△ 84,135	
繰越金	0	148,912	148,912	
合 計	268,235	279,835	11,600	

【 差引残高 】

科 目	収入の部 決算合計	支出の部 決算合計	増 減	備 考
繰越金	279,835	279,835	0	

オンエアミーティング参加数集計 (28年3月25日～29年2月25日 YKA 掲示板より)

No	CALL	氏名	参加数
1	JE0JJR	細貝 彰	41
2	JE0KBP	井澤和秀	34
3	J10IOI	宮越竹司	32
4	JA0PYA	上村孝幸	30
5	JH0FZG	山田政和	28
6	JJ0QJB	保坂健吾	20
7	JR0LOZ	岡田 晋	19
8	JR0JMY	渡辺和幸	18
9	JH0VYM	丸山 忠	11
10	JA0CAB	藤田英男	4
10	JR0LNI	野本和宏	4
10	JH0BQV	金子 豊	4
13	JJ0HWP	山崎郁生	3
13	JJ1IJD/0	佐々木一磨	3
13	JA0CYK	加藤一馬	3
13	JR0XLY	小竹正章	3
17	JG0RUR	伊藤満男	1
17	JA0GUX	小間経昭	1
17	J10LQJ	石塚誠人	1

☆JE0JJR 細貝さんは26年度、27年度、28年度の3年連続で第1位の参加数でした。

(2) 平成29年度JARL系魚川クラブ活動計画(案)

月	日(曜日)	行 事	担当者
4	9日(日)	お花見ミーティング(美山公園)	J J 0 Q J B
5	13.14日(土・日)	J A 0 V H F コンテスト 21:00-12:00	J E 0 K B P
	21日(日)	新潟コンテスト(7MHz)(14-28MHz)	J E 0 K B P
6	10~11日(土・日)	移動運用(高倉峰山)周辺草刈りも行う。	J I 0 L Q J
	11日(日)	新潟コンテスト(ローバンド)19:00-22:00	J H 0 V Y M
7	8日(土)	クラブ代表者会(上越市鶴の浜温泉)	J H 0 B Q V
	9日(日)	県支部大会(上越市百間町ユートピアくびき希望館)	J H 0 B Q V
8	5,6日 (土・日)	フィールドデーコンテスト&納涼会 (姫川土手下14:00集合 翌日12:00解散) 会費2,000円	J H 0 F Z G
			J R 0 J M Y
			J I 0 I O I
			J E 0 V S O
9	2,3日(土・日)	ハムフェア 土曜日出発、日曜日見学	J E 0 J J R
	日程未定	電波環境クリーン月間PR局の運用 8NOCLEA	J G 0 R U R J A 0 P Y A
10	15日(日)	製作講習会 トランジスタラジオの製作 (本年度は市民対象)	J R 0 L O Z J A 0 C A B
11	25日(土)	忘年会(会場 あじさい 18:00)	J J 0 Q J B J A 0 G U X
1	2,3日	ニューイヤーパーティ併設クラブ内コンテスト クラブ代表者会	J R 0 X L Y
	20日(土)		J H 0 B Q V
3	18日(日)	年度末総会	J E 0 K B P

上記事業のほか、必要があれば次の活動を行う

(1) 系魚川市防災訓練への参加(要請がある場合のみ) J A 0 C A B

(2) 系魚川市または系魚川ジオパークをPRするため特別運用、ヒスイ国石アワード発行

29年度オンエアミーティング担当者一覧表(案) 毎週土曜日 21時 145.32MHz **赤字は金曜日**

月	日 (都合の悪いときは遠慮なく 会長、事務局長に連絡を)	キー局	備考
4月	1日、8日、15日、22日、29日	J E 0 J J R	
5月	6日、13日、20日、27日	J I 0 I O I	VHFコンテスト 13.14日
6月	3日、10日、17日、24日	J A 0 P Y A	
7月	1日、8日、15日、22日、29日	J A 0 C Y K	
8月	4日 、12日、19日、26日	J H 0 F Z G	フィールドデー-5,6日
9月	1日 、9日、16日、23日、30日	J R 0 L N I	ハムフェア 2,3日
10月	7日、14日、21日、28日	J R 0 J M Y	
11月	4日、11日、18日、 24日	J J 0 Q J B	忘年会 25日
12月	2日、9日、16日、23日、30日	J R 0 L O Z	
1月	6日、13日、20日、27日	J R 0 X L Y	
2月	3日、10日、17日、24日	J H 0 B Q V	
3月	3日、10日、17日、24日、31日	J E 0 K B P	

- ★キー局は、メンチャンの145.00MHzで21時にオンエアミーティングの告知をする。
- ★145.32MHzにQSYして、チェックインを受け付ける。チェックインがあったらスタンバイしてもらい次のチェックインを受け付ける。これを繰り返してチェックインがなくなるまで続ける。
- ★キー局は、最初に会長または副会長、事務局長などから連絡事項を話してもらう。
- ★その後、チェックインした局を順番に呼び、近況報告や連絡事項に対する質問などを話してもらう。**(おおむね30分程度で終わるようにする。内容の繰り返し、伝達は必要に応じて行う)**
- ★途中、新たなチェックインを受け付ける。全員の近況報告が終わったら終了。
- ★終了後、JARL糸魚川クラブのインターネット掲示板にキー局、参加局、主な連絡事項や話題などを書き込んでください。(都合の悪いときは遠慮なく会長、事務局長に連絡を)

(3)平成29年度 JARL糸魚川クラブ役員(案) 順不同

No	役職	名前	コールサイン	備考
1	会長	井澤 和秀	J E 0 K B P	
2	副会長	岡田 晋	J R 0 L O Z	ヒスイ国石アワード担当
3	副会長	渡辺 和幸	J R 0 J M Y	クラブ創立50周年事業担当
4	事務局長	細貝 彰	J E 0 J J R	
5	会報	小玉 智樹	J E 0 V S O	
6	会報	丸山 忠	J H 0 V Y M	
7	企画運営部長	山田 政和	J H 0 F Z G	
8	企画運営	野本 和宏	J R 0 L N I	
9	企画運営	伊藤 満男	J G 0 R U R	
10	企画運営	保坂 健吾	J J 0 Q J B	
11	企画運営	加藤 一馬	J A 0 C Y K	
12	企画運営	石塚 誠人	J I 0 L Q J	
13	企画運営	上村 孝幸	J A 0 P Y A	
14	企画運営	小竹 正章	J R 0 X L Y	
15	企画運営	藤田 英男	J A 0 C A B	
16	企画運営	渡辺 正雄	J A 0 W K A	
17	企画運営	白沢 孝人	J H 0 O I S	
18	企画運営	小間 経昭	J A 0 G U X	
19	会計	金子 豊	J H 0 B Q V	
20	会計	宮越 竹司	J I 0 I O I	

平成 29 年度JARL 糸魚川クラブ会計予算

【 収入の部 】

(平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日)

科 目	29 年度予算	28 年度予算	比較増減△	備 考
繰越金	143,357	150,235	△ 6,878	前年度より
会費	96,000	96,000	0	@3,000×32 名
地区研修会	10,000	10,000	0	県支部助成金
雑収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
合 計	249,357	256,235	△6,878	

【 支出の部 】

科 目	29 年度予算	28 年度予算	比較増減△	備 考
行事費	10,000	10,000	0	クラブ内コンテスト参加賞
	10,000	10,000	0	地区研修会助成(製作講習)
	10,000	10,000	0	県支部大会補助
	15,000	15,000	0	フィールドデーコンテスト&納涼会助成
	50,000	0	50,000	ヒスイ国石アワードクラブ負担金
	0	0	0	
会議費	3,000	3,000	0	
総会費	45,000	45,000	0	
会報代	20,000	20,000	0	
会報送料	15,000	15,000	0	
通信費	3,000	3,000	0	
会長渉外費	25,000	25,000	0	
事務用品費	2,000	2,000	0	
QSL 転送費	10,000	10,000	0	
JARL会費	10,800	10,800	0	
電波利用料	300	300	0	
予備費	20,257	77,135	△ 56,878	
合 計	249,357	256,235	△6,878	

(4) その他

【日本の石ヒスイ選定記念アワードについて】 ☆以下は糸魚川市役所定住促進課への提出書類
まちづくりパワーアップ事業 事業計画書

1 基本事項

事業名	アマチュア無線によるヒスイ国石 PR 活動 事業	
団体名	糸魚川アマチュア無線クラブ	
代表者名	会長 井澤和秀	
団体連絡先	住所 糸魚川市大和川 362-4 氏名 井澤和秀 電話 025-552-9173 (携帯電話 090-4383-5944)	
交付対象事業の種類 (第2条第3号関係) ※重点をおく事業項目	<input checked="" type="checkbox"/> ア 地域の特色を生かした事業 <input type="checkbox"/> イ 人材育成事業 <input type="checkbox"/> ウ 地域活性化を図るイベント事業 <input type="checkbox"/> エ 芸術文化の継承又はスポーツの振興を目的とする交流事業 <input type="checkbox"/> オ 地域資源を生かした特産品等の研究開発を図るソフト事業 <input type="checkbox"/> カ 地域づくり活動に結びつく施設又は設備の整備に関する事業 <input type="checkbox"/> キ 生活環境の向上に結びつく社会貢献活動の促進を図る事業	
事業の目的	全国のアマチュア無線家と交信する活動を通して、ヒスイが国石になったことを広報し、糸魚川市全体の PR につなげる。	
事業対象者	全国(全世界)のアマチュア無線家	参加予定人数 合計 5 千人以上
事業内容	<p>○場所 アマチュア無線クラブ員の自宅又は自動車にある無線機から全国(全世界)のアマチュア無線家の所在地</p> <p>○内容</p> <p>①国内外のアマチュア無線家と交信する。</p> <p>②糸魚川ヒスイが国石になったことを交信の中で PR し、交信証書(ヒスイやジオパークをデザインした QSL カード) を送付する。</p> <p>③一定の条件を満たした無線家から申請を受け付け、アワード(日本の石ヒスイ賞の賞状)を発行する</p> <p>④上記の内容をホームページや広報誌・機関紙等により全国に広報する。</p>	
事業実施後の2回目、3回目に向けた展開について	アワード(日本の石ヒスイ賞の賞状)のデザインを2～3種類作り、継続して申請する無線家に対応する。 交信後に発行する QSL カード(交信証明書、はがきの大きさ)は、ヒスイおよびジオサイトの写真を使用し、糸魚川市の良さを視覚的に広報する。	

2 事業実施に向けたスケジュール

月	スケジュール
4	補助金交付申請事務
5	補助金交付決定書受理後事業着手
6	6/1 アワード印刷発注（アドクリーク） Q S Lカードデザイン検討
7	7/1 ヒスイ国石アワードの広報活動開始（ホームページ、日本アマチュア無線連盟機関紙、アマチュア無線新潟支部大会等）、Q S Lカード（交信証明書）完成
8	8 / 5～6 アマチュア無線公開運用（姫川河川敷）
9～12	各月の1週目 役員会、アワードおよびQ S Lカード発行作業
1, 2	1/18 新潟県アマチュア無線クラブ代表者会において事業報告と協力依頼
3	3/18 総会（本年度の事業について反省評価、次年度の事業の検討）精算終了

3 審査に対する事業アピール

1	ヒスイが日本の石に選定されたことをアマチュア無線（2016年11月末の国内アマチュア無線局数43万5,352局、米国は約72万局、全世界では200万局超）での交信を通して全国、全世界にPRし、糸魚川の良さを広報する。
2	広報の方法は次の4つの方法をとる <ol style="list-style-type: none"> ① アワード（日本の石ヒスイ賞の賞状）を申請者に発行することによる広報。アワード送付の際は糸魚川市の観光パンフレットを同封することとする。 ② Q S Lカード（交信証明書、はがきの大きさにヒスイやジオサイトの写真使用）を交信相手に発行することによる広報 ③ 当クラブのホームページ、日本アマチュア無線連盟機関紙、アマチュア無線新潟支部の大会や役員会等のコンテンツ、会合等を通じた広報 ④ 糸魚川アマチュア無線クラブ員が交信の会話の中で糸魚川のヒスイや糸魚川ジオパークについて広報。
3	県内のアマチュア無線クラブ（17団体）の内、アワードを発行しているのは新発田クラブの「堀部安兵衛賞」上越クラブの「天と地と賞」（現在中断）のみ、全国的に見ても数十種と稀少であり、「日本の石アワード」は大きな注目を得ると考えられる。
4	Q S Lカード（交信証明書）は、年間100万枚が発行される。その流通は日本アマチュア無線連盟の経費でまかなわれるため、交信の相手側にはほぼ無料で届けられる。糸魚川広報カードが全国にいきわたる経費約31万円（はがき62円×約5,000枚）がかからないことは非常に経済的であると考えられる。
5	糸魚川アマチュア無線クラブ33名の会員が国石ヒスイをPRするという目的で、結束力を高め、ヒスイやジオパークについて理解を深めることができる。
6	アワードとQ S Lカードにより、全国（全世界）の人が糸魚川について見聞きすることができ、これは市の発展や活性化につながるものと考えられる。
7	アワード（A4サイズ）は1年間で約200枚発行で経費見込み2万円、Q S Lカード（はがきサイズ）は5000枚で経費見込み6万円と少ない経費で多くの情報を伝えることができる。
8	アマチュア無線の公開運用を行うことにより糸魚川市民への啓発も期待できる。

【糸魚川アマチュア無線クラブ創立50周年事業について】

昭和43年 JA0CYK 加藤 OM によって「ひめかわクラブ」が設立されて来年で50周年になる。(15ページ資料参照)

① 記念式典、祝賀会

平成30年の「夏」または「秋」に50周年祝賀会(JARL 県支部長、近隣クラブ会長、会員を含めて30人程度、笹倉温泉または市内飲食店)を開催する

② 記念誌

50周年記念誌(20周年記念誌に準じて20ページ程度の冊子)を印刷所に依頼して作成する。

③ 記念運用

50周年記念アマチュア無線局特別運用(オールバンドホルト、コールサインは JA0YKA)を行う。

平成28年度 JA0YKA クラブ内コンテスト結果

順	コールサイン	局数	マルチ	総得点	コメント
1	JH0VYM	353	39	68,835	50、144、430、1200MHz で富士スバルライン、北群馬郡へ移動運用し、優秀な成績をあげました。
2	JE0KBP	133	54	20,466	3.5、7、21、144、430MHz と幅広いバンドで運用し局数とマルチを伸ばし、また黒部市、名立にも移動運用し、得点を伸ばしました。
3	JR0LOZ	28	18	1,134	3.5、7、144MHz で運用して得点を伸ばしました。
4	JH0FZG	47	3	825	144MHz で名立移動運用し、得点を伸ばしました。
5	JA0GUX	21	11	550	7MHz CW と144MHz の運用で得点を伸ばしました。
6	JE0JJR	8	3	210	144、430MHz で クラブメンバー各局にサービスされました。

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 新潟県支部糸魚川クラブ規約

第1章 総則

- 第1条 本クラブはJARL糸魚川クラブと称する。
クラブ局JA0YKAを置く。
- 第2条 本クラブは糸魚川市に居住しているもの、本クラブの趣旨に賛同するHAM、SWL等で組織する。
- 第3条 本クラブは、事務所を当年度会長宅に置く。
- 第4条 本クラブは、会員相互の親睦を図り、アマチュア無線の健全な発展を図ることを目的とする。
- 第5条 本クラブは目的達成のため次の事業を行う。
1. 技術交換、発展普及等のため、原則として毎月第3日曜日に会合を行う。
2. アマチュア無線を志す人の育成を行う。
3. レクリエーション的デモンストレーション、移動公開実験等を行う。
4. 毎月定められた日時に145MHz帯にて、ネットワークを組む。
5. その他会長が必要と認める行事を行う。
6. 会員が死亡した場合は、弔慰金として予備費より5000円を支出する。

第2章 機関

- 第6条 本クラブは次の役員をおき、総会にて選出する。
会長、副会長、会計、企画運営、広報、その他必要な係
- 第7条 役員は1ヶ年とし、再任を妨げない。
- 第8条 1. 本クラブへの入会希望者は会費を添えて申込むこと。
2. 未納者については本人との確認を取る。猶予期間は6月末日とする。
- 第9条 本クラブを脱会する者は、会長へ届け出ること。
- 第10条 次の者は会合により除名することができる。
1. アマチュア無線及びクラブの秩序統制を乱した者。
2. 会費を故意に未納している者。
- 第11条 会費は年額3000円、年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
- 第12条 決算は、年度総会の際、報告、承認を得るものとする。

第3章 補足

- 第13条 クラブ局JA0YKAの運用は、クラブ行事（ロールコール連絡、移動運用、コンテスト等）のみに使用するものであり、原則として会員個人への貸し出しはしない。
ただし、会長が必要と認め許可を与えた場合はこの限りでない。
- 第14条 本クラブ員は、アマチュア無線家の誕生に努力すること。
- 第15条 本規約は、総会の際決議で変更することができる。
- 第16条 本規約は、昭和43年3月17日より効力を発する。

昭和44年3月	一部改正	平成4年3月	一部改正
昭和45年3月	一部改正	平成10年3月	一部改正
昭和47年5月	一部改正	平成13年3月	一部改正
昭和49年3月	一部改正	平成28年3月	一部改正
昭和51年3月	一部改正		
昭和54年3月	一部改正		
昭和55年6月	一部改正		
昭和56年3月	一部改正		
昭和59年3月	一部改正		
昭和62年3月	一部改正		

創刊

ひめかわ NO1
S 43 J 1

QSY UP TO 21.150 MHZ.

○ミーティング開かる

去る 2 月 11 日 糸魚川の北陸鉄道センターにおいて ミーティングが開かれました。当日はあいにくの雨でしたが、思わぬほど参加者があつたこと、大層うれしうございました。

青森の北陸鉄道センターにおいて ミーティングが開かれました。当日はあいにくの雨でしたが、思わぬほど参加者があつたこと、大層うれしうございました。

青森の北陸鉄道センターにおいて ミーティングが開かれました。当日はあいにくの雨でしたが、思わぬほど参加者があつたこと、大層うれしうございました。

今後の方針

現在当地方にはハム同士の親睦を計る会がないので、糸魚川市を中心としてハム同士の親睦、交流を計る会を作る。これを指針として当地方のクラブに推進する。同クラブ局は設置しない。

ネットワーク

毎週土曜日 2100 JST 以降の時間帯でネットを組む。

電波型式は A3 A3H A3A のいずれかとする。

ミーティング

毎月 3 日 2100 JST に行い 会場は糸魚川と青森の待合所とする。

ひめかわ NO2
S 43.4.1
姫川アマ 無線クラブ発行

クラス結成 会長 JA0CYK 加藤氏

本会創立ミーティングは 3 月 17 日 JA0CYK 宅で開催され、新姫川クラスが結成されました。旧姫川クラスは昭和 35 年頃当地方の地産クラスとして発足しましたが、昨年から活動が停止されておりました。今回特に各局の熱意により内容を新しくし発足したのです。メンバーは次のとおりです。

今年度役員

会長	加藤 一 忠	JA0CYK
幹事	坂上 要 作	JA0BNK
会計	箱 又 幸 雄	JA0PH
	小林 政 毅	JA0AV3
	田 原 康 一	JA0DD17
	佐 藤 広 西	JA0BYS
	清 水 俊 一	JA0DVO
	吉 川 教 朗	JA0CGU
	加 藤 征 子	JA0CYL
	友 川 芳 信	JA0DCP
	内 山 貴	JA0DLE
	磯 野 島 男	JA0DPR

尚皆さんの近くに 姫川クラスに入会希望の方がおりましたらお知らせ下さい。そしてより一層のいいクラスにしましょう。

各局の積極的な協力があったらこそこのクラスが成り立つのです。各局の協力をお願い致します。

平成 28 年度アマチュア無線界の 10 大ニュース

本年度話題になったことをピックアップしてみました (JEOKBP)

<旧スプリアス機器の“救済”スタートへ>

JARD、9月1日から「スプリアス確認保証」の開始を発表!!

古いリグもほとんどが保証可能。日本中のアマチュア局が助かった。

<おためし入会キャンペーン>

JARL が若者発掘作戦。22 歳未満が対象、実質 1 年間 JARL 年会費無料

<JARL 新会長には JG1 KTC>

アウトドアHAMクラブの高尾氏を選出!! 新副会長は JG2GFX 種村氏と JA8ATG 原氏

<第二級アマチュア無線技士養成課程講習会>

4 級、3 級に続いて 2 級も講習会で取れる時代に。JARD 主催で定員 30 人。法規 17 時間+無線工学 29 時間で実質 10 日間。受講料 69750 円。募集するとすぐ満員になるとか!

<新しいリグ次々発売>

アイコム、HF/50MHz 帯固定機「IC-7610」を発表!! 異なるバンド・モードが 2 波同時受信可能。

JVC ケンウッドは D-STAR+APRS ハンディ TH-D74、ついにケンウッドも D-STAR

八重洲無線は FT-991A(リアルタイムスペアナ改良版)、超コンパクト HF 機 FT-891

<コールサインを送出しない通信を捕捉!>

中国総合通信局、鳥取県在住のアマチュア無線従事者に対し 17 日間の行政処分

<「JT65」のオフバンド>

電波監視で発覚! デジタル文字通信 3.576MHz での運用>東北総通、福島県在住の 2 アマほか計 2 名に対し 37 日間の行政処分

<電波監視で電波の強さを測定>

オーバーパワー発覚! 岡山県新見市のアマチュア無線家に対し従事停止 17 日間の行政処分

<熊本県内、最大震度 7 の激震>

アマチュア無線では九州各局が被害、

被災したショップ「無線のクマデン」わずか 11 日後に営業再開!!

<大西卓哉宇宙飛行士>

国際宇宙ステーション (ISS) 滞在中の大西宇宙飛行士が、日本のアマチュア無線家と「一般交信」を楽しむ!!